

真駒内中学校区 小中一貫した教育 グランドデザイン

真駒内中学校

真駒内桜山小学校

駒岡小学校

札幌市の「小中一貫した教育の目的」

「自立した札幌人」の実現に向け、義務教育段階において
「知・徳・体の調和のとれた育ち」の一層の充実を図る

全市共通で推進する「二つの柱」

① 課題探究的な学習

② 発達の段階に応じた継続的な子ども理解

札幌市の小中一貫した教育推進の四つの視点

① 9年間を通した子ども
の学びのつながり

② 子ども理解・生徒指導の
連続性

③ 教職員の連携・協議

④ 家庭や地域との関わり

地域の願い

地域愛が強く、子どもや
学校の活動を温かく見守
り、協力的である

中学校区 めざす 15 歳の子ども像

人として胸をはって生きる自分

優しく、正しく、賢く、たくましく

子どもの実態

家庭の教育力が高く、基礎
学力も高い。物事に落ち着
いて、意欲的に取り組む

各学校の教育目標

真駒内桜山小学校

「夢つながる学校」の創造
・未来への夢、世界への夢、
仲間との夢、地域との夢を
実現する子どもの育成
「大きな夢をもち、笑顔で学び、
未来へはばたく、桜山小の子」

真駒内中学校

未来に生きる、たくましく
心豊かな生徒を育てる学校
・わたしたちは、
たくましい身体をつくる
豊かな心を育てる
高い知性を求める
夢をいだき限りなく前進する

駒岡小学校

駒岡の自然の中で、豊かな
人間性と生きる力を育む
・健康でねばり強い子ども
・よく考え実践力のある子ども
・明るく助け合う子ども

パートナー校としての取組

課題探究的な学習

- ・小中合同の研修会の充実
- ・授業公開・日常的な授業実践の交流
- ・小中一貫した教科の連続性のための授業交流
- ・体育専科指導の充実
- ・ICT、一人一台端末の有効活用と小中での
接続連続性、発達段階を考慮した指導の構築

発達の段階に応じた継続的な子ども理解

- ・小中合同の研修会の充実
- ・いじめ防止についての取組と連携性の構築
- ・不登校の未然防止と不登校児童・生徒への対応
- ・児童会・生徒会の連携と子どもたちを主体とした
取組の連続性の構築と活動の充実
- ・キャリアパスポートの有効活用によるキャリア
教育の連続性と生き方指導の充実